2026 年 11 月 20 日

報道関係各位

株式会社ジェクトワン

ジェクトワン、空き家事業「アキサポ」において、横浜市港北区大倉山の築 45 年の空き家物件を 1 棟貸の宿泊施設として再生！

～売却せず家族に残したい所有者の想いに応え、駅徒歩 2 分の好立地を活かした事業用途へ～

不動産の開発事業・リノベーション事業および空き家事業を展開する株式会社ジェクトワン（本社：東京都渋谷区、代表取締役：大河幹男　以下、ジェクトワン）は、横浜市港北区大倉山で約 1 年半空き家となっていた築 45 年の木造 2 階建て物件を、空き家事業「アキサポ」（https://www.akisapo.jp/）の活用スキームによって、宿泊施設として再生したことをお知らせいたします。



＜大倉山宿泊施設「Crest Okurayama」＞

■約 1 年半空き家となっていた駅徒歩 2 分の物件を、宿泊施設として活用！

本物件は、東急東横線「大倉山」駅から徒歩 2 分の所に位置する築 45 年の木造 2 階建て戸建てです。もともとは所有者様のご実家でしたが、前所有者様が施設へ入所されたことをきっかけに空き家となりました。その後、相続が発生し、具体的な活用方法が見つからないまま約 1 年半にわたって空き家状態が続き、維持費だけがかかる状況でした。所有者様は物件を売却せず、将来的にご息女へ建物を残したいと考え、複数の改修工事会社へ相談していました。しかし、改修費用が高額であることに加え、ご自宅のある埼玉県から物件までの移動に時間や費用を要するなど、維持・管理にも課題を抱えていました。

所有者様は、ウェブ検索をきっかけに「アキサポ」を知り、改修にかかる初期費用の負担を抑えながら、物件の管理まで一貫して任せられる点にメリットを感じ、当社へご相談いただきました。

当社で活用方法を検討したところ、引き続き住宅として活用する場合は、工事費に対して想定賃料が見合わず、所有者様に費用負担が生じる可能性があると判断いたしました。そこで、駅徒歩２分という立地の良さを活かした事業用物件への転換をご提案し、所有者様にご承諾いただきました。こうした中、合同会社ログと条件が合致し、宿泊施設としての活用が決まりました。

■雨漏りやネズミ被害にも対応し、宿泊施設への転用に向けた改修を実施

本物件では、所有者様が過去に雨漏り補修を行っていたものの、現地調査で雨漏りの継続が確認されたため、当社にて屋根の葺き替え工事を実施しました。また、ネズミ被害への対策として、駆除および侵入箇所をふさぐ工事を行いました。そのうえで、運営会社が用途に合わせた内装工事を行いやすいよう、スケルトン状態までの改修工事を実施しました。

ジェクトワンでは今後も、物件や地域の特徴・ニーズを踏まえ、所有者様と地域社会の双方にとって価値ある空き家活用をご提案、実行し、最適な不動産再生に取り組んでまいります。

■本物件の外観および内観の Before／After

＜Before（お荷物撤去前）＞　＜Before（お荷物撤去後）＞　＜After＞



■大倉山宿泊施設「Crest Okurayama」のコンセプト・特長

「日本の趣と北欧の心地よさが調和する、家族でくつろぐジャパンディ空間」
海外から訪れる旅行者に、日本らしさを感じてもらいながらも、ホテルとはひと味違う、自宅のようにリラックスできる空間を目指しました。インテリアのテーマは、和の要素と北欧デザインを融合させた「ジャパンディスタイル」。日本らしい木の温もりや落ち着いた色合いを取り入れつつ、北欧家具を組み合わせることで、洗練されながらも温かみのある空間に仕上げています。

一方で、日本らしさを強調しすぎず、海外からのゲストにも日常的に使いやすい洋室を中心とした設計にしました。
畳の部屋など、文化的な演出に偏るのではなく、国籍を問わず自然にくつろげる居住性を大切にしています。また、ファミリー層の利用を想定し、家族が一緒に過ごす時間を快適に楽しめることも重視しました。家具やインテリア小物を必要以上に詰め込まず、余白を大切にすることで、開放感と使いやすさを両立しました。荷物の多い旅行中でも、ゆったりと過ごせる空間を意識しています。日本ならではの落ち着きと、北欧のシンプルで機能的なデザイン。その両方を取り入れることで、観光を楽しんだ後も、家族みんながほっとできる「もうひとつの我が家」のような宿を目指しました。

■大倉山宿泊施設「Crest Okurayama」の概要

名　　称：　Crest Okurayama
活 用 用 途：　宿泊施設（旅館業）
物 件 形 態：　木造スレート葺2階建
築　年　数：　築45年
延 床 面 積：　71.88㎡（1F：34.70㎡／2F：37.18㎡）
所　在　地：　神奈川県横浜市港北区大倉山3丁目1-20
交　　通：　東急東横線「大倉山」駅から徒歩 2 分
オ ー プ ン：　2026年11月20日
運　　営：　合同会社ログ

■株式会社ジェクトワン　会社概要

社　　名：株式会社ジェクトワン
所　在　地：東京都渋谷区渋谷二丁目 17 番 1 号　渋谷アクシュ 21F
設　　立：2009 年 1 月 28 日
代表取締役：大河　幹男
資　本　金：1 億 3,000 万円
事 業 内 容：総合不動産開発事業（住宅、ビル、商業、ホテル）、リノベーション事業、賃貸管理事業、
　　空き家事業（アキサポ：https://www.akisapo.jp/）
ホームページ：https://jectone.jp/

本物件については、宿泊施設内装の内覧取材や大倉山宿泊施設「Crest Okurayama」、株式会社ジェクトワンの担当者への取材が可能です。
本件に関するお問い合わせ、物件取材のご相談等につきましては、アキサポ広報事務局までお気軽にご連絡ください。

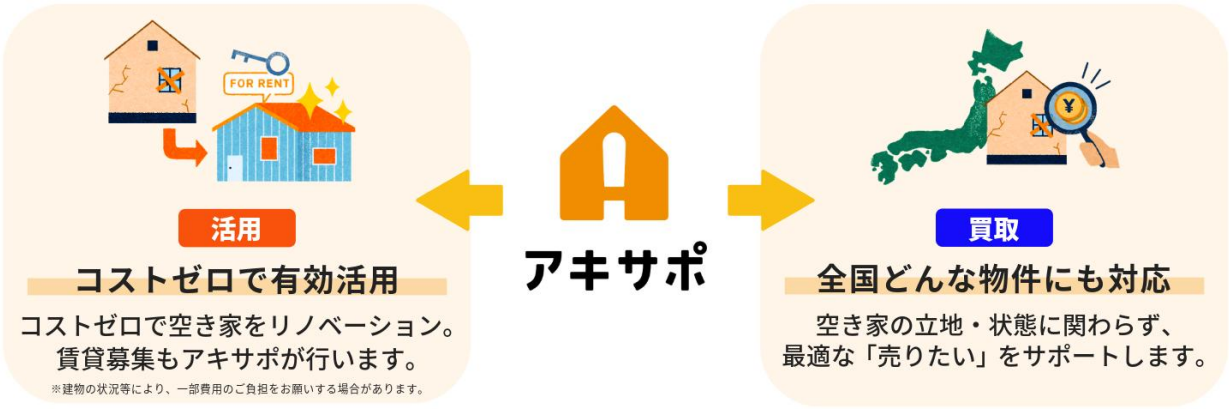
＜本件に関する取材お問い合わせ先＞
【お問合せ先】ジェクトワン PR 事務局（株式会社イニシャル内）　担当：大田・長岡・根本・小野・山﨑
TEL：03-5572-6316　FAX：03-5572-6065
Email：jectone@vectorinc.co.jp　Mobile：050-5236-0411（大田携帯）

<ご参考>

■「アキサポ」とは

株式会社ジェクトワンが運営する空き家解決サービスです。
空き家のお悩みに対して「アキサポ」が寄り添い、活用や買取などのさまざまな選択肢の中から最適なプランをご提案、所有者様の手間なく、お悩みを解決いたします。創業時より大切にしている物件の多様化（不動産それぞれの土地や周辺のニーズに合わせた活用方法）を最大限に活かした事業を目指し、2016 年にスタートしました。
現在は、住居用戸建てだけではなく、企業が保有する遊休不動産の有効活用も積極的に行っております。

アキサポ公式 HP：https://www.akisapo.jp/



■「アキサポの活用」とは

首都圏と関西圏を中心に展開する空き家を活用するサービスで、「アキサポ」が提供するサービスの一つです。
「アキサポ」が空き家を借り受け、「アキサポ」の基本費用負担でリノベーション工事を行い、一定期間転貸するサービスです。
地域にマッチした空き家活用を提案し、街の資源である空き家の再生を通じて地域コミュニティの活性化に貢献しております。

【空き家所有者にとっての最大のメリット】

・契約期間終了後、建物が戻ってくる
所有権が変わらず、リノベーションを行った空き家が契約終了後手元に返ってきます。
・リノベーション費用は「アキサポ」が基本負担
リノベーション設計や施工、工事管理もすべて「アキサポ」にお任せできます。
※物件により諸条件等が異なります。

【サービスフロー】



■「アキサポの買取」とは

全国を対象に、「アキサポ」が空き家を直接買い取るサービスです。
老朽化や立地の問題で、他の不動産会社に取り扱いを断られてしまう空き家でも、「アキサポ」が物件の状態にかかわらず全国無料査定を行い、買取（引取）をご提案します。所有者様にとっては、売却先が見つからない空き家を手放すことができ、管理や固定資産税などの負担から解放されるという利点があります。 ※離島は要相談
全国に扱えない空き家はない――日本中のどんな空き家にも対応できる選択肢をご用意しております。